

# 赤松俊子とモスクワ

1937 - 1941

2020年9月12日 - 10月25日  
原爆の図丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401  
電話：0493・22・33266 FAX：0493・24・8371  
開館時間：午前9時～午後5時  
休館日：月曜日、月曜祝日の場合は翌平日  
入館料：一般900円／18歳未満・中高生600円／小学生400円  
団体（20名以上、チラシ持参の方、60歳以上、比企地区在住100円割引  
障害（しよがじ）のある方は半額

ロシアの風景 1938年頃 油彩 原爆の図丸木美術館蔵





赤松俊子（丸木俊）が初めてモスクワを訪れたのは、一等通訳官・油橋重遠の子どもたちの家庭教師として赴任した1937年4月のことでした。

当時、彼女は25歳。翌年3月に帰国するまでの1年間、毎日スケッチを描きました。初めての国外、それも油彩の本場である西洋の体験は、画家として成長するための重要な機会となりました。帰国後の1939年には、ロシアの風景の記憶を投影した《白樺の林》で、二科展に初入選を果たしています。

都会の街並み、人びとの暮らし、夏の郊外の別荘……彼女が精力的に描き続けたスケッチは、当時のモスクワの様子を知るための貴重な資料として読むこともできるでしょう。

1941年1月には、公使・西春彦の子どもの家庭教師として、再びモスクワに赴任しました。このときは独ソ開戦の影響により、半年ほどで帰国していますが、週末にはたびたび観劇に出かけるなど、後の絵本作画などのイメージのもとになるような豊かな芸術体験をしています。

今展では、現存する油彩画12点、鉛筆・水彩スケッチ239点を公開し、若き日の「女絵かき」の貴重なモスクワ体験を再考します。



モスクワの四季（解氷期） 1944年第5回美術文化協会展出品 油彩 丸木ひさ子蔵

## 赤松俊子とモスクワ 1937-1941



ニーナの像 1937年 水彩 丸木ひさ子蔵



朝食 1937年 鉛筆 丸木ひさ子蔵



赤軍劇場 1941年 水彩 丸木ひさ子蔵

## 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

〔常設展〕「原爆の図」連作

- 「水俣の図」
- 「南京大虐殺の図」
- 「アウシュビッツの図」
- 「水俣・原発・三里塚」
- 丸木スマ水彩画等

〔開館時間〕午前9時～午後5時

〔休館日〕月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）

〔入館料〕大人900円 中高生または18歳未満600円  
小学生400円 団体（20名以上）、60歳以上、  
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引  
障碍（しょうがい）のある方は半額

**このチラシを持参の方は入館料が100円割引になります**

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

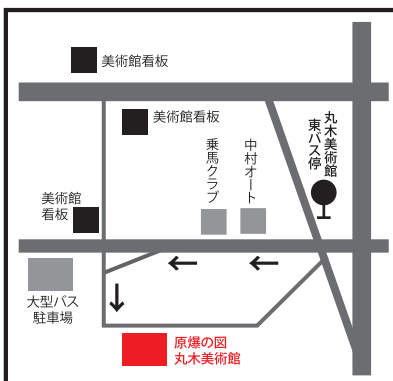
〔URL〕<https://marukigallery.jp/>

〔Eメール〕[info@marukigallery.jp](mailto:info@marukigallery.jp)

〔交通〕●東武東上線森林公園駅

南口よりタクシー10分、徒歩50分  
●東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース（日祝運休）約15分  
「丸木美術館東」下車徒歩15分

●丸越自動車道  
東松山インターより小川方面10分  
●東武東上線つきのお駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



### 【市内循環バス時刻表（日祝運休）】

東松山駅東口発	丸木美術館東発	丸木美術館東行	東松山駅東口行
08:45			10:42
10:10			11:42
11:10			12:42
12:10			15:02
14:30			16:07
15:35			17:32